

「公共事業コスト構造改革プログラム」

【 施策名： (2) 計画・設計から管理までの各段階における最適化 】

省スペース、省エネルギータイプの機器の標準化(ベルト型ろ過濃縮機)

概要： ベルト型ろ過濃縮機を標準化することにより、機器価格の縮減等による建設コストの縮減並びに維持管理コストの縮減が図れます。

(従来)  
遠心濃縮機

⇒

(新)  
ベルト型ろ過濃縮機

効果

①従来の遠心濃縮機に比べて、機器価格のコスト縮減や省スペース化により建設コストを約6割縮減。

■全国7箇所 縮減額 800百万円

②電力費や修繕費などの維持管理コストを約4割縮減。

■全国7箇所 縮減額 55百万円 (年割引率4%)

